

2021年10月22日

天龍製鋸株式会社

独立行政法人日本学生支援機構が発行する
「ソーシャルボンド」への投資について

天龍製鋸株式会社（本社：静岡県袋井市、代表取締役：大石高彰、以下「当社」という）は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（第65回日本学生支援債券、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に貢献するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的なESG評価機関であるヴィジオアイリス（Vigeo Eiris・フランス）からセカンドオピニオンを取得しており、「ソーシャルボンド」として発行されます。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標（SDGs⁽²⁾）の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当社は「感謝の心をもって、従業員の幸せと株主の幸せを追求し、社会の幸せに結びつけます」を経営理念としています。この中でもSDGsに賛同し、健全な事業成長を通じて持続可能な社会の実現に努めることを謳っており、本投資もその一環として実施するものです。当社はこれからも本債券への投資をはじめ、企業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを継続してまいります。

〔本債券の概要〕

銘柄	第65回日本学生支援債券
年限	2年
発行額	300億円
発行日	2021年11月9日

- (1) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと
- (2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

以上

このリリースに関するお問い合わせは
天龍製鋸(株) 経営企画課まで
TEL. 0538-23-6111